

# 婦人と子ども

## 第一卷第一号

(明治三十四年一月廿九日)

### 発刊の辞

我国教育界刻下の急務は児童教育法の研究なり。顧ふに児童字の研究は、現今大に発達し来りたりといへども、尚末、完成の域に至らず。従つて其教育材料たる童和遊戯唱歌等の研究、亦甚だ、幼稚の域に在り。是を以て、学校幼稚園等に於ては其の十分ならざるを知りつゝも、仍適切ならざる材料と依りて以て、児童を教育せるもの、是れ実に現今の通弊なりとす。されば幼児児童の研究、其教育材料の精撰、其教育方法の確定、誠に方今我国教育界の急務にあらずや。

我国教育界、刻下の急務は婦人教育殊に母としての婦人教育の普及に在り。児童を育成し、家庭を整理するは婦人の任なり。盗を捕へて後、繩を求むる者、人之を笑ふ、育児の智識なくして、母たらんとし、家庭を整理する資力を備へずして、一家の主婦たらんとす。誰か之れに類せずとせんや。婦人出でゝ一家を治む。先づ知るべきものは、育児の智識なり。幼児心身の発達如何、之を修養助長せしむべき方法は如何、而して幼児心身の自然的発達は独り円満なる家庭に於てのみ望み得るものとすれば、之を形成するには、如何にすべきか。是れ方今我国婦人の當に力めて知悉せざるべからざる問題にあらずや。

我国教育界、刻下の急務は家庭に向つて好個の読書材料を供給するに在り。凡そ婦人は其天職を尽さんがために、常に自ら修養を加へて、其智見を拡め、其品格を進め、其趣味を高尚にせざるべからず。此の如くにして、其地位を進め、以て将来、良妻賢母となるに至るべきなり。方今、我邦、婦人に関する著術界は、其寂寥たり。良好なる家庭的読書材料は供給して、以て婦人の修養に資せしむること、これ実に、家庭教育上の一大急務にあらずや。

本会は、もと、幼児保育の方法を研究せんがため、同志相集りて設立せるもの、創立以来茲に五年の星霜を経て、爾來漸く隆盛の運に向はんとす。今回更に規模を拡張し、こゝに本誌を發刊して、以て大に當時の急務に向つて、貢獻する所あらんとす。是を以て、本誌は一方に於ては児童幼児と共に語り共に歌ひ共に遊びて其師友たらんことを期し他方に於ては、母としての婦人、教育者としての婦人の好伴侶となりて共に児童教養の任に当り共に高尚神聖なる家庭の快樂を得むことを期し而して現今一般女子教育の発達尚甚だ遅々たるものあるを以て更に此方面に於て満身の力を尽して其普及を期せんと欲するものなり。